

科目名	果樹栽培各論	開講時期	1年生通年
		時間数	60
担当者名	園芸課:藤本、佐々木	単位数	4
科目のねらい	主要果樹の生理生態および果樹生産に必要な栽培管理法を理解させる。また果樹流通の現状や、品目の特徴を利用した加工方法について理解させる。		
到達目標	(1) 主要果樹の生理生態と栽培管理方法を習得する。 (2) 施肥設計と農薬計算を習得する。 (3) 果樹流通の現状を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 主要果樹の生理生態 ナシ(新水、幸水、豊水、新高、愛宕ほか) ブドウ(巨峰系品種、欧州系品種ほか) カンキツ類(温州みかん、せとみ、南津海ほか) 地域特産果樹(ウメ、クリ、イチジク等) 小果樹(ブルーベリー、ブラックベリー等)	36	担当者 農技C研究員
	2 農技Cでの取組 ナシ樹体ジョイント栽培やマルドリ栽培など	4	
	3 施肥設計と農薬計算	15	
	4 果樹流通の現状と課題	1	
	5 果樹の加工	1	
	6 まとめ	2	
	7 試験	1	
評価方法	(1)筆記試験(1回:後期1回)(80%) (2)実習態度(20%)		

科目名	果樹専攻栽培演習	開講時期	1、2年生通年
		時間数	1年(120) 2年(120)
担当者名	園芸課:藤本、佐々木	単位数	1年(6) 2年(6)
科目のねらい	主要果樹の栽培をとおして、果樹生産に必要なほ場管理、栽培技術、出荷調整技術を習得させる。また、専攻外品目の栽培実習により、広く園芸品目の栽培基礎を習得させる。		
到達目標	(1) 主要果樹生産の基礎的な技術を習得する。 (2) 主要果樹の栽培基礎を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 栽培計画の作成と評価	10	担当者 農技C研究員
	2 開園・定植演習	20	
	3 果樹棚・施設の設営演習	20	
	4 果樹の栽培管理・出荷調整技術の修得 ナシ、ブドウ、カンキツ類、クリ、カキ、核果類、果樹苗	60	
	5 農技Cでの果樹研究の取組 カンキツ栽培のスマート農業技術 カンキツの長期貯蔵技術	5	
	6 専攻外実習	5	
評価方法	(1)関心・意欲・態度(40%) (2)知識・理解度(30%) (3)管理技術の習得状況(30%)		

科目名	果樹生産プロジェクト実習	開講時期	1年生通年
		時間数	750
担当者名	園芸課:佐々木、藤本	単位数	25
科目のねらい	果樹生産に係る基本的な技術を習得するため、品目を選定し、果樹の生理生態や栽培技術、販売手法を理解させる。		
到達目標	(1) プロジェクト課題を通じて基礎的な栽培技術を習得する。 (2) プロジェクト課題の設定から調査、成果のとりまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を培う。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 生産プロジェクトの課題設定	8	担当者
	2 生産プロジェクトの栽培計画作成	6	
	3 生産プロジェクトの実施	700	
	4 中間検討会(専攻単位)	16	
	5 生産プロジェクト報告書のまとめ	20	
評価方法	(1)関心・意欲・態度(30%) (2)取組の知識・理解度(30%) (3)技術の習得状況(30%) (4)報告書の内容・発表態度(10%)		

科目名	果樹経営プロジェクト実習・卒業論文	開講時期	2年生通年
		時間数	720
担当者名	園芸課:藤本、佐々木	単位数	24
科目のねらい	将来の進路を視野に入れた作目を選定し、プロジェクト課題を通じて、果樹の生産向上・収益性を重視した経営安定技術を習得させる。		
到達目標	(1) プロジェクト課題を通じて就農を視野に入れた栽培技術と経営管理技術を習得する。 (2) プロジェクト課題の設定から調査、成果のとりまとめ、発表までの一連の作業を通じて農業経営者としての視野を養う。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 経営プロジェクトの課題設定	10	担当者
	2 経営プロジェクトの栽培計画作成	10	
	3 経営プロジェクトの実施	658	
	4 中間検討会	4	
	5 プロジェクト経営収支・調査課題のまとめ	30	
	6 経営プロジェクト報告	8	
評価方法	(1)関心・意欲・態度(30%) (2)取組の知識・理解度(30%) (3)技術の習得状況(30%) (4)報告書の内容・発表態度(10%)		